



平成28年 1月29日

各 位

会 社 名 ナブテスコ株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 小谷 和朗  
 (コード: 6268、東証第1部)  
 問合せ先 総務部長 松本 敏裕  
 (TEL 03-5213-1133)

## 連結子会社における固定資産の減損損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社の連結子会社は、平成27年12月期において固定資産の減損損失（特別損失）を計上することとなりましたのでお知らせいたします。また、平成27年10月30日に公表しました通期業績予想（連結）につきまして、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 連結子会社における固定資産の減損損失（特別損失）の内容

当社の連結子会社である上海納博特斯克液压有限公司（中国上海市）は、足元の事業環境の急激な悪化に伴い収益性が著しく低下し、同社が所有する固定資産について減損の兆候が認められたことから、当該固定資産に係る回収可能性を検討した結果、平成27年12月期第3四半期連結会計期間（平成27年10月1日～平成27年12月31日）において減損損失109百万元（約21億円）を特別損失に計上することとなりました。

#### 2. 業績予想の修正

(1) 平成27年12月期通期 連結業績予想数値の修正（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

(単位：百万元)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (平成27年10月30日発表)	191,000	16,200	17,100	11,400	円 銭 91 59
今回修正予想 (B)	186,800	15,000	16,100	10,800	86 77
増 減 額 B-A)	△ 4,200	△ 1,200	△ 1,000	△ 600	—
増 減 率 (%)	△ 2.2	△ 7.4	△ 5.8	△ 5.3	—

#### (2) 修正の理由

前述のとおり、平成27年12月期第3四半期連結会計期間において、当社の連結子会社における固定資産の減損損失（特別損失）を計上することとなりました。また、油圧機器事業において中国における建設機械需要減の影響を受けたほか、鉄道車両用機器事業でも中国高速鉄道案件の延期等の影響が生じました。精密減速機事業では自動化関連需要が旺盛に推移したものの、第3四半期（平成27年10月1日～平成27年12月31日）に一部のロボットメーカーでの減産影響を受けました。自動ドア事業においては為替変動の影響を受け、結果として、連結売上高、各利益が前回発表予想を下回る見込みとなりました。

なお、平成27年12月期の配当につきましては、従来予想から変更ありません。

### 3. 参考情報

平成27年12月期通期（平成27年4月1日～平成27年12月31日）連結セグメント情報

（売上高）

（単位：百万円）

	精密機器	輸送用機器	航空・油圧機器	産業用機器	計
前回発表予想（A） （平成27年10月30日発表）	46,600	48,300	40,100	56,000	191,000
今回修正予想（B）	45,300	46,800	39,500	55,200	186,800
増減額（B-A）	△ 1,300	△ 1,500	△ 600	△ 800	△ 4,200
増減率（%）	△ 2.8	△ 3.1	△ 1.5	△ 1.4	△ 2.2

（営業利益）

（単位：百万円）

	精密機器	輸送用機器	航空・油圧機器	産業用機器	計
前回発表予想（A） （平成27年10月30日発表）	7,100	8,600	△ 2,300	2,800	16,200
今回修正予想（B）	6,800	7,800	△ 2,100	2,500	15,000
増減額（B-A）	△ 300	△ 800	200	△ 300	△ 1,200
増減率（%）	△ 4.2	△ 9.3	—	△ 10.7	△ 7.4

（注）平成27年12月期は決算期変更の経過期間となることから、通期業績予想においては、従来3月決算であった会社は9ヵ月間（平成27年4月1日～平成27年12月31日）、従来より12月決算の会社は12ヵ月間（平成27年1月1日～平成27年12月31日）を連結対象期間とした予想数値を記載しています。

（注）上記の業績予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上